

本部名：細野中学校区支援地域本部

連絡先：小林市教育委員会社会教育課

電話：0984-22-7912

FAX：0984-23-9700

1 実施状況

対象学校	小林市立細野小学校・細野中学校
活動分野	学習支援・環境整備・学校行事
【学校支援の取組】 ○読み聞かせ、あいさつ運動、登下校の見守り、環境整備、家庭科実習、部活動支援(通年) ○交通教室(4月)、体育大会グラウンド整備、体育大会救護支援、田植え(5月)、食育指導(6月)、田植え体験、スマホ携帯教室、非行防止教室、救急救命法講習、職場体験学習、農業体験学習(7月)、水泳学習監視(6・7月)、図書館まつり(9月)、薬物乱用防止教室、校区クリーン作戦、モーモースクール(10月)、史跡めぐり、避難訓練、稲刈り、体験福祉疑似体験、福祉施設体験(11月)、持久走見守り、もちつき体験、性教育教室、そば打ち体験(12月)、租税教室、ハローワーク、根性行進(交通整理・巡回・うどん作り)、面接指導(1月)、そろばん教室(3月)	
○地域コーディネーター(2)人 ○ボランティア登録数(100)人	

2 特色のある取組の紹介

① 「小学生のハローワーク」

【ここがイチオシ・本部自慢！】
一流企業の気配り・心配り！

○ 活動内容

- ・本年度は、「小学生のハローワーク」と題して、一流企業(宮崎山形屋)で活躍されている方をお招きして、講演をしていただいた。目に見えにくい裏方の仕事や社員一人一人の努力はもちろんのこと、働く上ではどんな仕事にも共通する「お客様」を思う気持ちの大切さを様々な具体例を通して話していただいた。また、将来仕事をしていくために、今からでもできることがあると聞き、子供たちは目を輝かせながら熱心に聞いていた。



【講演会の様子】

○ 事業を実施して(参加者等の声)

- ・ 普段の生活の中でも「元気なあいさつ、返事、気配り」はできると思いました。(児童)
- ・ 「人は自分の鏡」という言葉が心に残りました。私も見習って、相手に思いやりのある人、感謝されるような人になりたいです。(児童)

② 「学校図書館開放・図書館まつり」

【ここがイチオシ・本部自慢！】
細野小中学校を「地域のプラットホーム」へ！ 地域開放事業を開催！

○ 活動内容

- ・ 細野小中学校を「地域のプラットホーム」とするために、学校図書館を平日や特設日に地域住民に開放している。学校や市立図書館のコーナーもあり、幼児から高齢者まで世代を超えたコミュニティ形成の場となり、地域の読書活動を活性化させるとともに子供たちの学力向上や地域の教育力の向上を図っている。



【コラボ読み聞かせの様子】

○ 事業を実施して(参加者等の声)

- ・ 取組の一環として、「細野中学校図書館まつり」を9月に開催した。小中高生をはじめ、地域の方々が一堂に集い、おすすめの本を紹介しあう「ビブリオバトル」や小林市立図書館のご協力で様々なジャンルの本を集めたブースをつくり、移動しながら本に親しむ「ブックウォーク」、吹奏楽部と地域の読み聞かせグループ「ママーズ」の「コラボレーション読み聞かせ」などを行った。約230人の参加者が集まった。
- ・ 細野小学校では、月1回の学校図書館開放日を設定し、市立図書館との連携や様々な読み聞かせや楽器演奏会、大学生による学習支援会など、学校図書館を核とした世代を超えた地域の交流の場となった。参加者からは「また、小学校や中学校に行ってみたい。」等の声が多数挙がった。